

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

2021年2月10日、ソースネクスト株式会社は、2021年3月期第3四半期決算及び業績予想の修正に関して発表した。

四半期業績推移 (百万円)	19年3月期				20年3月期				21年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	(進捗率)	通期会予
売上高	2,436	3,308	4,497	4,470	4,639	4,044	4,406	4,193	2,540	3,248	3,726			
前年比	54.3%	41.3%	59.9%	61.9%	90.5%	22.3%	-2.0%	-6.2%	-45.2%	-19.7%	-15.4%			
売上総利益	1,355	2,126	2,896	2,725	2,815	2,535	2,691	2,338	1,478	1,983	2,129			
前年比	37.0%	34.7%	49.8%	53.1%	107.7%	19.2%	-7.1%	-14.2%	-47.5%	-21.8%	-20.9%			
売上総利益率	55.6%	64.3%	64.4%	61.0%	60.7%	62.7%	61.1%	55.8%	58.2%	61.1%	57.1%			
販管費	1,408	1,713	2,379	2,822	2,809	2,279	2,947	1,676	1,660	1,753	1,905			
前年比	20.1%	4.6%	135.8%	117.9%	99.5%	33.0%	23.9%	-40.6%	-40.9%	-23.1%	-35.3%			
売上高販管費比率	57.8%	51.8%	52.9%	63.1%	60.6%	56.3%	66.9%	40.0%	65.3%	54.0%	51.1%			
営業利益	85	422	338	14	92	270	102	10	74	210	162			
前年比	35.8%	12.4%	-15.1%	-96.5%	7.8%	-36.0%	-69.9%	-26.9%	-19.3%	-22.3%	58.7%			
営業利益率	3.5%	12.8%	7.5%	0.3%	2.0%	6.7%	2.3%	0.2%	2.9%	6.5%	4.3%			
経常利益	85	431	352	37	85	269	154	30	53	190	127			
前年比	30.6%	13.6%	-12.0%	-91.1%	0.1%	-37.7%	-56.2%	-19.7%	-37.7%	-29.4%	-17.8%			
経常利益率	3.5%	13.0%	7.8%	0.8%	1.8%	6.6%	3.5%	0.7%	2.1%	5.8%	3.4%			
当期純利益	49	350	226	-9	56	141	67	-40	7	118	72			
前年比	-42.8%	44.7%	-12.8%	-	13.1%	-59.6%	-70.1%	361.9%	-88.0%	-16.3%	6.4%			
当期純利益率	2.0%	10.6%	5.0%	-	1.2%	3.5%	1.5%	-	0.3%	3.6%	1.9%			
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	(進捗率)	通期会予
売上高	2,436	5,743	10,241	14,711	4,639	8,683	13,089	17,282	2,540	5,788	9,515		73.2%	13,000
前年比	54.3%	46.5%	52.1%	54.9%	90.5%	51.2%	27.8%	17.5%	-45.2%	-33.3%	-27.3%			-24.8%
売上総利益	1,355	3,482	6,377	9,102	2,815	5,350	8,041	10,379	1,478	3,461	5,590			
前年比	37.0%	35.6%	41.7%	44.9%	107.7%	53.7%	26.1%	14.0%	-47.5%	-35.3%	-30.5%			
売上総利益率	55.6%	60.6%	62.3%	61.9%	60.7%	61.6%	61.4%	60.1%	58.2%	59.8%	58.7%			
販管費	1,408	3,121	5,500	8,322	2,809	5,088	7,571	9,711	1,660	3,412	5,318			
前年比	20.1%	31.6%	44.0%	62.7%	99.5%	63.0%	37.6%	16.7%	-40.9%	-32.9%	-29.8%			
売上高販管費比率	57.8%	54.3%	53.7%	56.6%	60.6%	58.6%	57.8%	56.2%	65.3%	59.0%	55.9%			
営業利益	85	508	846	860	92	362	464	475	74	284	446		74.3%	600
前年比	35.8%	15.8%	1.1%	-30.5%	7.8%	-28.6%	-45.1%	-44.8%	-19.3%	-21.5%	-3.9%			26.4%
営業利益率	3.5%	8.8%	8.3%	5.8%	2.0%	4.2%	3.5%	2.7%	2.9%	4.9%	4.7%			4.6%
経常利益	85	516	869	906	85	354	508	538	53	243	370		61.6%	600
前年比	30.6%	16.1%	2.8%	-28.1%	0.1%	-31.5%	-41.5%	-40.6%	-37.7%	-31.4%	-27.2%			11.6%
経常利益率	3.5%	9.0%	8.5%	6.2%	1.8%	4.1%	3.9%	3.1%	2.1%	4.2%	3.9%			4.6%
当期純利益	49	399	624	616	56	197	264	225	7	125	197		47.3%	416
前年比	-42.8%	21.7%	6.5%	-51.2%	13.1%	-50.6%	-57.6%	-63.5%	-88.0%	-36.6%	-25.7%			84.9%
当期純利益率	2.0%	6.9%	6.1%	4.2%	1.2%	2.3%	2.0%	1.3%	0.3%	2.2%	2.1%			3.2%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

チャンネル別売上高 (百万円)	19年3月期				20年3月期				21年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
自社オンラインショップ	-	-	-	-	-	-	-	-	1,314	1,350	1,589	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4%	-	-	
家電量販店	-	-	-	-	-	-	-	-	555	1,214	1,316	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-79.3%	-	-	
法人営業	-	-	-	-	-	-	-	-	630	618	750	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-7.1%	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	38	67	72	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-11.0%	-	-	
【旧区分】												
スマートフォン事業者	238	222	185	183	158	150	152	145	-	-	-	-
前年比	-34.6%	-23.4%	-34.4%	-32.2%	-33.6%	-32.4%	-17.8%	-20.8%	-	-	-	-
自社オンラインショップ	1,046	1,269	1,648	2,336	1,997	1,630	1,826	1,602	-	-	-	-
前年比	16.4%	31.1%	16.5%	110.6%	90.9%	28.4%	10.8%	-31.4%	-	-	-	-
家電量販店・他社EC	817	1,573	2,344	1,369	1,918	1,687	1,707	1,711	-	-	-	-
前年比	341.6%	70.8%	152.6%	16.8%	134.8%	7.2%	-27.2%	25.0%	-	-	-	-
その他	333	243	321	582	564	578	721	735	-	-	-	-
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
自社オンラインショップ	-	-	-	-	-	-	-	-	1,314	2,664	4,253	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4%	4.4%	2.5%	
家電量販店	-	-	-	-	-	-	-	-	555	1,769	3,085	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-79.3%	-62.2%	-53.4%	
法人営業	-	-	-	-	-	-	-	-	630	1,248	1,998	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-7.1%	-6.9%	-5.5%	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	38	105	177	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-11.0%	-3.1%	-15.5%	
【旧区分】												
スマートフォン事業者	238	460	645	828	158	308	460	605	-	-	-	-
前年比	-34.6%	-29.7%	-31.1%	-31.3%	-33.6%	-33.0%	-28.7%	-26.9%	-	-	-	-
自社オンラインショップ	1,046	2,315	3,963	6,299	1,997	3,627	5,453	7,055	-	-	-	-
前年比	16.4%	24.0%	20.8%	43.5%	90.9%	56.7%	37.6%	12.0%	-	-	-	-
家電量販店・他社EC	817	2,390	4,734	6,103	1,918	3,605	5,312	7,023	-	-	-	-
前年比	341.6%	116.1%	132.7%	90.4%	134.8%	50.8%	12.2%	15.1%	-	-	-	-
その他	333	576	897	1,479	564	1,142	1,863	2,598	-	-	-	-

出所：会社データよりSR社作成

*2015年3月期より販売チャンネルの区分を一部変更したため、前年度の数字は参考値。

2021年3月期第3四半期累計実績（2021年2月10日発表）

- ▷ 2021年3月期第3四半期累計実績：売上高9,515百万円（前年同期比27.3%減）、営業利益446百万円（同3.9%減）、経常利益は370百万円（同27.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は197百万円（同25.7%減）。
- ▷ 2021年3月期会社計画（2021年2月10日発表）は、売上高を従来会社予想16,000百万円から今回会社予想13,000百万円へ下方修正、各利益予想は変更なし。主力製品であるAI通訳機「POCKETALK（ポケットーク）」の売上高が減少し、当初会社想定と乖離が生じていることが要因。新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、海外旅行や観光施設・店舗のインバウンド対応などでの需要減少が期初想定を超えて継続していることが背景。当第4四半期において、テレワーク関連製品ならびに「Meeting Owl」を始めとする新作IoT製品の展開を拡大することで、2021年3月期売上高および売上総利益にかかる影響を最小限に抑える計画。また、販管費についても、営業活動の範囲や影響を見据えた上で、引き続き効果的な削減策を図り、各利益については期初予想の達成を目指す。
- ▷ 進捗率：2021年3月期通期会社計画（2021年2月10日発表）に対する進捗率は売上高73.2%（2020年3月期実績に対する前年同期実績75.7%）、営業利益74.3%（同97.8%）、経常利益61.6%（同94.5%）、四半期純利益47.3%（同117.6%）。
- ▷ 前年同期比27.3%減収：自社オンラインショップ（同2.5%増）、家電量販店（同53.4%減）・法人営業（同5.5%減）、その他（同15.5%減）となった。AI通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）」は、新型コロナウイルス感染症拡大を背景に店頭販売や海外旅行者向けの需要が減少した。一方、テレワーク関連のソフトウェア、ハードウェアが堅調に推移した。
- ▷ 同3.9%営業減益：売上総利益率は同2.7%ポイント低下の58.7%であった。返品調整引当金戻入額が増加し、返品調整引当金繰入額・戻入額を調整した差引売上総利益率は0.8%ポイント低下の60.6%となった。販管費は、売上高の落ち込みによる利益への影響を回避すべく、圧縮を実施し、前年同期に比べて2,253百万円（29.8%）減少した。具体的には、「POCKETALK®」では昨年（2019年）に実施していたTVCMやテレビショッピングへの露出を取りやめることで、広告宣伝費を抑制した。加えて、テレビショッピングの実施に伴い発生していたコールセンターへの業務委託費や、その他店頭展開のための販売促進費も削減に努めた。販管費率は同1.9%ポイント低下の55.9%となった。それらにより、営業利益率は同1.2%ポイント上昇の4.7%となった。

外部環境

2020年4～12月のパソコン出荷台数は前年同期比113.0%となった（2021年1月、JEITA調べ）。

2021年3月期第3四半期累計期間における同社の取り組み

同社グループは、IoT製品やスマートフォン向けアプリおよびパソコンソフトの新規ユーザーの獲得と、マーケットの拡大に取り組んだ。

「POCKETALK®」の動向

- ▷ AI通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）」は、新型コロナウイルス感染症拡大を背景に店頭販売や海外旅行者向けの需要が減少した。
- ▷ そのため、AIを相手に英会話練習ができる「会話レッスン機能」の言語に中国語を加え、語学学習ツールとしての「POCKETALK®」の活用を前面に押し出した。
- ▷ これを踏まえ、自社オンラインショップでの拡販に加え、新たに医療機関や外国人労働者を採用する製造業・工場、公共機関などのBtoBチャネルを開拓していくことで、「POCKETALK®」の拡販に注力した。

- ▷ 2020年7月には、従来の「POCKETALK S」の姉妹品にあたる「POCKETALK S Plus」を新たに発売した。本製品はより大きな画面で文字を大きく表示して使いたいという顧客のニーズに応えるために開発した。翻訳の性能やその他の機能は全く同じで、画面サイズを拡大しバッテリー容量も増大させている。
- ▷ 同年8月には「ポケットトークmimi（ミミ）」を発売した。本製品は、ボタンを押して話した内容を瞬時に大きな文字で表示するAIボイス筆談機で、加齢性難聴の方や聴覚障がいのある者とのコミュニケーションをスムーズで快適なものにする。「POCKETALK」を日本語から日本語への翻訳に設定して、耳の聞こえにくい人との会話に使われる顧客がいることがきっかけで開発した。全国の家電量販店の他、補聴器を取り扱う眼鏡店でも販売している。

テレワーク関連その他

- ▷ 内閣のテレワーク推進を受け、同社はテレワーク関連のソフトウェア・サービス、ハードウェアをスピーディに提供していく方針を打ち出した。2020年3月には同社サイト上でテレワークに役立つ製品を紹介するページ「テレコレ〜TELEWORK COLLECTION」を公開し、株式会社ブイキューブの通話ノイズ軽減サービス「Krisp（クリस्प）Pro」を始め、様々なテレワーク関連製品を販売。同年7月には会議室用webカメラ「Meeting Owl（ミーティングオウル）」を発売した。また、2020年12月に自社開発の新作2製品「タブレット mimi（ミミ）」「AutoMemo（オートメモ）」を発売した。
- ▷ 「タブレット mimi」は話した言葉をスピーディに文字にする、AIボイス筆談機である。
- ▷ 「AutoMemo」は、録音した音声ファイルを自動でテキスト化できるボイスレコーダーである。
- ▷ 「Meeting Owl（ミーティングオウル）」は、2021年2月9日現在、販売台数9,000台を突破している。

販売チャネル別営業概況

- ▷ 各販売チャネルの営業概況は以下の通りである。
- ▷ 当第1四半期より、販売チャネルの区分を変更している。従来「その他」に区分していた法人営業を「スマートフォン通信事業者（キャリア）」に追加し、名称を「法人営業」に変更している。このため、前年同期との比較については、変更後の数値に組み替えて比較を行っている。

自社オンラインショップ：売上高4,253百万円（前年同期比2.5%増）

同チャネルでは、同社のウェブサイトソースネクストeSHOPを併設し、「POCKETALK®」やソフトウェアを中心としたIoT・ハードウェア等の販売を行なっている。

- ▷ 新作のAIボイス筆談機「タブレット mimi」は、2020年11月の製品発表と同時に予約受付を開始した。姉妹品の「POCKETALK mimi」とあわせて「mimiシリーズ」としての追加購入サービスや、まずは試してみたいというユーザーのために、本製品のレンタルサービスも開始し、より多くの方に製品を知ってもらえるような展開を推進した。
- ▷ 録音した音声ファイルを自動でテキスト化できるボイスレコーダー「AutoMemo」も同様に、2020年11月の製品発表と同時に予約受付を開始した。オンラインショップユーザー向けのメールマガジン配信で本製品を紹介し、売上拡大に繋げた。
- ▷ 既存製品では「筆まめ」「筆王」「宛名職人」の年賀状ソフト3ブランドを発売した。旧バージョンからのアップグレード版も堅調に推移している。

家電量販店：売上高3,085百万円（前年同期比53.4%減）

同チャンネルでは、主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けIoT製品およびパソコンソフトなどの販売を行っている。

- ▷ 「POCKETALK®」は前年同期に比べて需要が減少したものの、新作の「タブレット mimi」は全国の家電量販店に加えて眼鏡販売店の「メガネの愛眼」でも販売を開始し、新規の販路開拓を推し進めた。
- ▷ 「AoutoMemo」は量販店でのデモ機やスマホでの設定マニュアルを用意した。
- ▷ 「Meeting Owl」のプロモーション強化に伴い、テレワーク関連製品の販売強化を行った。店頭展開に加えて大学生協への販路も拡大し、売上に繋がった。
- ▷ パソコンソフトでは、年賀状シーズンに向けたハガキ作成ソフトの3ブランド「筆王」「筆まめ」「宛名職人」を拡販した。新型コロナウイルス感染拡大の抑制に加えて、前年同期に発生した令和への元号改正に関連した特需が当第3四半期累計期間には剥落したことから店頭展開は多少苦戦した。
- ▷ 既存製品ではテレワークやオンライン学習の需要が増加したことで、「ZEROウイルスセキュリティ」、「ZEROスーパーセキュリティ」などのセキュリティソフトや、タイピングソフトの「特打」シリーズの売上が拡大した。
- ▷ しかしながら、昨年の「POCKETALK」やパソコンソフトの消費税増税前の駆け込み需要による売上を超えるには至らなかった。

法人営業：売上高1,998百万円（前年同期比5.5%減）

同チャンネルでは、法人向けの「POCKETALK®」の販売・レンタル提供や、パソコンソフト・スマートフォンアプリの使い放題サービスなどの提供を行なっている。

- ▷ 法人向け「POCKETALK®」は、観光施設や店舗のインバウンド対応での需要が減少したものの、自治体や保育園、工場などの在日外国人対応が堅調に推移した。更に、SIM通信の2年間契約終了に伴う更新需要が発生したほか、「POCKETALK mimi」が介護施設や特例子会社を中心に実績を伸ばした。
- ▷ テレワーク関連では「Meeting Owl」の収益が拡大した。テレビCMやオンラインセミナー、企業導入事例の紹介などのPR効果により、製造業や金融、大学、各種団体など様々な企業からの問い合わせ注文が拡大した。本製品の認知度向上につれ各都市間での会議を目的とした複数台での利用も増加し、出荷台数も堅調に推移した。
- ▷ 大手キャリアへの定額アプリ使い放題サービスへのコンテンツ提供及び販売については、「超ブルーライト削減」などが寄与し、売上の拡大に繋がった。既存製品では、格安スマホやSIM関連事業者向けに提供した留守番電話が読めるアプリ「スマート留守電」や「アプリ超ホーダイ」などの月額利用が引き続き堅調に推移した。
- ▷ その他、パソコンソフトの法人ライセンスなどについては、テレワークによりセキュリティソフトの需要が前年同期に比べて増加したものの、前年同期にあったMicrosoft社の「Windows7」サポート期間終了予定に伴うパソコンの入需要が当第3四半期累計期間には無かったため、全体的に前年同期比減収となった。

その他：売上高177百万円（前年同期比15.5%減）

海外における「POCKETALK®」販売などが含まれる。

- ▷ 海外では米国や欧州の「Amazon」を中心に「POCKETALK®」を拡販中である。当第1四半期には新型コロナウイルスの世界的な流行によって拡販が縮小していたが、当第2四半期には新型コロナウイルス流行前の水準までほぼ回復した。当第3四半期は感謝祭やクリスマスといったホリデーシーズンに突入し、Amazonのネットショッピングでの個人消費

が少しずつ回復を見せている。米国のSourcenext Inc.を通じて「POCKETALK」を医療機関へ850台寄付したことが評価され、Newsweek誌「パンデミックにおけるGood company 50社」に選出された。

- ▷ その他の地域では主にアジア・タイでのプロモーション活動が進んだ。マレーシアでもPOP UPストアでの展開が開始し、駐在邦人を中心に販売が進んだ。

今期会社計画

(百万円)	19年3月期			20年3月期			21年3月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期会予	通期会予
売上高	5,743	8,968	14,711	8,683	8,599	17,282	5,788	7,212	13,000
前年比	46.5%	60.9%	54.9%	51.2%	-4.1%	17.5%	-33.3%	-16.1%	-24.8%
売上原価	2,262	3,267	5,529	3,333	3,570	6,903	2,327		
売上総利益	3,482	5,700	9,182	5,350	5,029	10,379	3,461		
前年比	35.6%	50.7%	44.6%	53.6%	-11.8%	13.0%	-35.3%		
売上総利益率	60.6%	63.6%	62.4%	61.6%	58.5%	60.1%	59.8%		
販売費及び一般管理費	3,121	5,201	8,322	5,088	4,623	9,711	3,412		
売上高販管費比率	54.3%	58.0%	56.6%	58.6%	53.8%	56.2%	59.0%		
営業利益	508	352	860	362	112	475	284	316	600
前年比	15.9%	-56.0%	-30.5%	-28.7%	-68.1%	-44.8%	-21.5%	181.1%	26.4%
営業利益率	8.8%	3.9%	5.8%	4.2%	1.3%	2.7%	4.9%	4.4%	4.6%
経常利益	516	390	906	354	184	538	243	357	600
前年比	16.0%	-52.1%	-28.1%	-31.5%	-52.8%	-40.6%	-31.4%	94.3%	11.6%
経常利益率	9.0%	4.3%	6.2%	4.1%	2.1%	3.1%	4.2%	5.0%	4.6%
当期純利益	399	217	616	197	28	225	125	291	416
前年比	21.8%	-76.8%	-51.2%	-50.6%	-87.2%	-63.5%	-36.6%	945.8%	84.9%
純利益率	6.9%	2.4%	4.2%	2.3%	0.3%	1.3%	2.2%	4.0%	3.2%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp